



2019年2月15日

株式会社 岩手銀行

取引先企業に対する「でんさい買取サービス」の提供開始について (川口印刷工業株式会社)

株式会社岩手銀行（頭取 田口幸雄）は、川口印刷工業株式会社（代表取締役会長 吉田幸一）に対して「電子記録債権買取サービス（略称：でんさい買取サービス）」の提供を開始しましたのでお知らせいたします。

当行は、資金供給をはじめ様々なソリューションメニューの提供により、今後とも地域経済の活性化に貢献してまいります。

記

1. 川口印刷工業株式会社の概要

代 表 者	代表取締役会長 吉田幸一
本 社 所 在 地	岩手県盛岡市羽場10地割1番地2
創 業	1904年（明治37年）10月
事 業 内 容	<p>当社は、「情報のクロスメディア化」に対応したフルデジタルの生産ラインを確立しています。「情報のクロスメディア化」を視野に入れつつ多様化するニーズに最適な対応をするため、印刷メディアの企画提案や製品化にとどまらずデジタルメディアの企画・制作やインターネットコンテンツ、モバイルコンテンツ事業など、ニューメディア関連のソフトサービスを幅広く提供。印刷業務全般を一括受注し、顧客の課題解決などの業務支援に役立つ印刷物、メディアサービスを提供する総合型ビジネスを展開しています。</p> <p>さらに、自社メディアとして北東北の生活情報誌『rakra（ラ・クラ）』と東北道の駅公式マガジン『おでかけ・みちこ』を発行し、「道の駅」日刊ウェブマガジン『まいにち・みちこ』を運営するなど、地域に密着した情報提供を行っています。</p> <p>また、メディア・ユニバーサル・デザインディレクターの認定資格やプライバシーマーク、FSC森林認証制度などの認証を取得し、「人にやさしい、環境にやさしい」企業として、地域の活性化に貢献しています。</p>





IWATE BANK NEWS LETTER



信頼の、さらにその先へ。

2. 「でんさい買取サービス」について

『でんさい』による支払いに対して『でんさい回収代行』と、当社の信用力に基づく『ファクタリング（債権買取）』を組み合わせたサービスです。本サービスを導入することで、手形からでんさいへの切替えが進むことによる事務負担の軽減や、自社の信用力を活かした資金調達手段の提供による取引先との関係強化が期待できます。

(1) 『でんさい』

株式会社全銀電子債権ネットワーク（通称：でんさいネット）が取扱う電子記録債権のことで、手形と比較した場合、印紙税節減等の経費削減や現物保管等の事務負担軽減が図られます。なお、ご利用には金融機関を通じて、でんさいネットへ登録が必要となります。

(2) 『でんさい回収代行』

お客様の代わりに当行提携先である三井住友信託銀行が『でんさい』を代行して受取り、支払期日に指定の口座へ資金をお振込みします。これにより、でんさいネットに登録していないお客さまでも『でんさい』を受取ることが可能となります。

(3) 『ファクタリング（債権買取）』

お受取りになった『でんさい』を支払期日前に資金化（割引）するサービスです。本サービスは通常の手形割引等と異なり、『でんさい』を支払うお客様の信用力に基づき期日前資金化を行うため、期日前資金化を行う企業は自社の与信枠を使用せずに資金調達が可能となります。

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

岩手銀行法人戦略部 小林 TEL：019-681-8594

岩手銀行